

青く光るほど
熱く吹く。



BLUE GIANT

原作 石塚真一「BLUE GIANT」(小学館「ビッグコミック」連載)
監督 立川 謙 脚本 NUMBER 8 音楽 上原ひろみ 演奏 サックス・馬場智章 ピアノ・上原ひろみ ドラム・石若 駿
アニメーション制作 NUT 製作 映画「BLUE GIANT」製作委員会 配給 東宝映像事業部

©2023 映画「BLUE GIANT」製作委員会 ©2013 石塚真一 小学館

2.17 ^FR 圧倒的サウンドが
劇場を〈熱く〉包み込む

世界一のジャズプレーヤーになる……! 累計880万部突破の人気コミックスが待望の映画化!

原作 石塚真一 × 監督 立川譲 × 音楽 上原ひろみ

熱くて、激しい、青春が、スクリーンで鳴り響く!

INTRODUCTION

2013年に石塚真一が「ビッグコミック」(小学館)で連載を開始した漫画「BLUE GIANT」(シリーズ累計:880万部超)。その圧倒的表現力は多くの読者を魅了し、“漫画から音が聞こえてくる”とも評され、現実のジャズシーンにも影響を与えている。

その「BLUE GIANT」が、「最大の音量、最高の音質で、本物のジャズを届けたい」という想いから、映画化される。監督は、「モブサイコ100」シリーズや劇場版「名探偵コナン ゼロの執行人」(18)で注目の立川譲。脚本は、連載開始前からの担当編集者で、現在はstory directorとして作品に名を連ねるNUMBER 8。アニメーション制作は「幼女戦記」(17)などで注目のスタジオ・NUTが手掛ける。

STORY

「オレは世界一の ジャズプレーヤーになる。」

ジャズに魅了され、テナーサックスを始めた仙台の高校生・宮本大。^{ミヤモトダイ}雨の日も風の日も、毎日たったひとりで何年も、河原でテナーサックスを吹き続けてきた。

卒業を機にジャズのため、上京。高校の同級生・玉田俊二の^{タマダシュンジ}アパートに転がり込んだ大は、ある日訪れたライブハウスで同世代の凄腕ピアニスト・沢辺雪折と出会う。

また、“音”の面でも最高のスタッフが集結。音楽は、世界的ピアニストの上原ひろみが担当。

上原は、主人公たちのオリジナル楽曲の書き下ろしをはじめ、劇中曲含めた作品全体の音楽も制作する。また、主人公たちのバンド・JASSの演奏を支えるアーティスト陣も豪華なメンバーが揃った。サクソ(宮本大)は、国内外のトップアーティストが集まるオーディションを経て選ばれた馬場智章。ピアノ(沢辺雪折)は、音楽の上原ひろみ自身が演奏し、ドラム(玉田俊二)の演奏はmillennium parade等、多数のアーティストから支持を集める石若駿が担当。最高のジャストリオの演奏が作品を彩る。

「組もう。」大は雪折をバンドに誘う。はじめは本気で取り合わない雪折だったが、聴く者を圧倒する大のサクソに胸を打たれ、二人はバンドを組むことに。そこへ大の熱さに感化されドラムを始めた玉田が加わり、三人は“JASS”を結成する。

楽譜も読まず、ジャズの知識もなかったが、ひたすらに、全力で吹いてきた大。幼い頃からジャズに全てを捧げてきた雪折。初心者玉田。トリオの目標は、日本最高のジャズクラブに出演し、日本のジャズシーンを変えること。

不可能と思われる目標に、必死に真摯に、激しく挑む――。



劇場内での映画の
撮影・録音は犯罪です
収録音源の複製権は
www.bigbaku.org
0120-550098

